

研究の推進について

調査研究の必要性

- アルコール健康障害対策の立案・施策の根拠となる実態の提供
- アルコール健康障害の予防、治療、再発防止等を有効に実施するための根拠ある手法の提供
- アルコール健康障害対策を担うマンパワーの養成

調査研究の実態

- アルコールに関わる分野は広いので、アルコール健康障害に関する研究が不十分な分野が多い。
- 未成年者の飲酒実態、成人の飲酒実態、コホート研究等、一定の研究成果が出されてる分野もある。

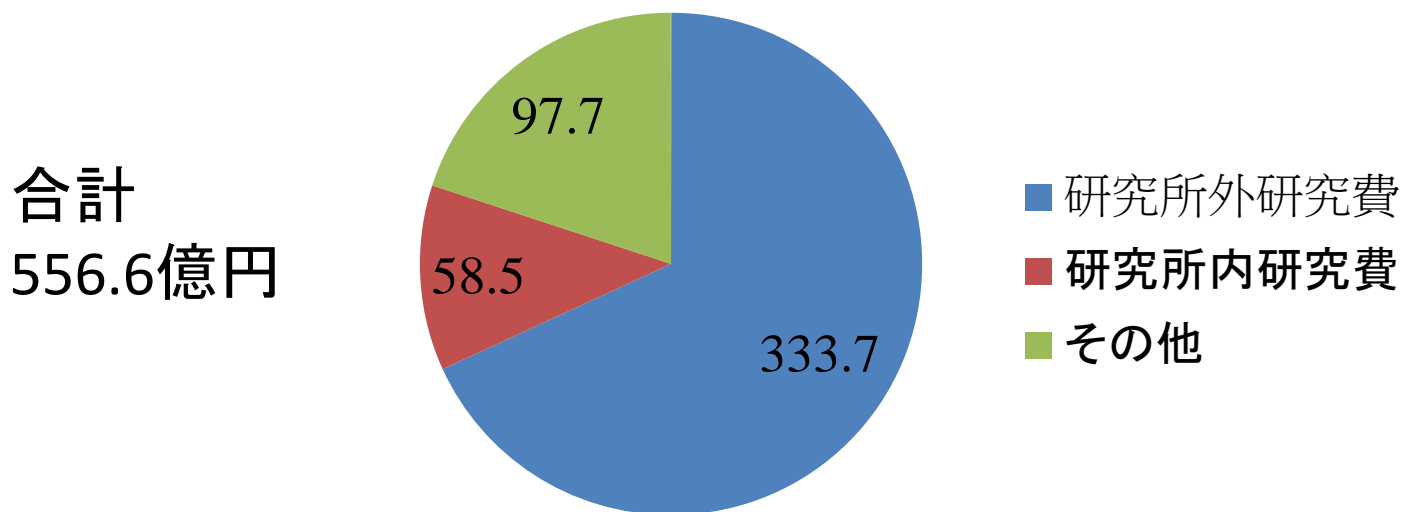
求められる調査研究体制

- アルコール健康障害の研究・治療を推進するためのセンターの設置
- 研究費の増額
- 研究費の継続的拠出

米国立アルコール乱用・アルコール症研究所

National Institute of Alcohol Abuse and Alcoholism (NIAAA)

2014会計年予算, 単位: 億円(1ドル=120円)



- 米国立保健(衛生)研究所内の27研究所の一つ
- ヒューズ法により設立された研究所
- 人々の健康や福祉に対するアルコール使用の影響に関する研究を実施
- 研究所内での研究と、研究所外への研究費提供を実施
- アルコール研究に対する世界最大の研究費提供組織

重点研究分野

実態調査

- 1) 未成年者・成人に対する実態調査は今後も拡充して継続
- 2) アルコール健康障害の横断研究・縦断研究の拡充
- 3) 飲酒に関連した社会的問題(DV、虐待、暴力など)の実態把握
- 4) 飲酒と自殺に関する多面的調査研究
- 5) 胎児性アルコールスペクトラム障害の実態調査
- 6) アルコール依存症の家族実態も含めたアルコールハラスメント実態調査
- 7) アルコール健康障害に関する本人・家族の相談実態に関する研究
- 8) アルコール依存症の治療・社会復帰に関する社会的資源の実態に関する調査研究
- 9) アルコールの社会的コストおよび健康障害のリスク算出
- 10) 予防教育の実態に関する調査
- 11) 人材育成に関する実態調査
- 12) 既存の政府データ等からアルコール健康障害に関係するデータを抽出・解析

重点研究分野

予防・治療に関する研究

- 1) 予防教育・啓発の効果に関する研究
- 2) 酒類の提供方法や宣伝がアルコール健康障害に与える影響
- 3) 依存や臓器障害のメカニズム解明と治療方法の開発・向上に関する研究
- 4) SBIRTの開発・普及向上に関する研究
- 5) 新薬の開発や心理社会的治療の向上も含めた依存症の治療向上に関する研究
- 6) 飲酒関連の自殺や飲酒運転の予防・低減のための研究
- 7) アルコール依存症の社会復帰促進のための研究
- 8) 健康障害の診断・治療・相談支援等のガイドライン・マニュアル作成
- 9) アルコールの医療連携促進のための研究

研究結果の公表

1. アルコール健康障害対策を推進するために、研究結果はわかりやすい形で公表する。そのため、実態や予防・治療等の現状をまとめた報告書を定期的に作成して公表する。
2. 健康障害の診断・治療・相談支援等のガイドライン、マニュアルを公表する。ガイドライン・マニュアルは定期的に更新する。
3. アルコール健康障害対策に関わる社会的資源を整理して公表する。また、このデータは定期的に更新する。